

第13回

穴水ウィンドアンサンブル



- ♪ と き 平成25年9月1日(日)
14:00開演(13:30開場)
- ♪ と こ ろ のとふれあい文化センター
ラベンダーホール
- ♪ 主 催 穴水ウィンドアンサンブル
- ♪ 後 援 穴水町教育委員会
穴水町文化協会
北國新聞社
石川県吹奏楽連盟
能越ケーブルネット(株)



ごあいさつ

穴水ウィンドアンサンブル

団 長 しみず かずひろ
清水 洋

本日はご来場頂き誠にありがとうございます。
回数を重ね、今年で第13回目となりました。

まだ肌寒い時期から練習に取り掛かり、気が付けば、もはや定演の日でありました。何と日の経つのは早いものか…と思いながらも、よくよく考えれば幾多の練習を積み、着実に今日の日には照準を合わせ積み重ねてきたと思います。

今回も、タントニューサウন্ズ（白山市）、トゥインクル（小松市）、七尾吹奏楽団（七尾市）および輪島吹奏楽団（輪島市）から多数の方々が駆けつけています。今年もパワーアップした演奏をお届けできると思いますので、最後までごゆっくりお楽しみください。

プ ロ グ ラ ム

第1部

1 シンフォニック・マーチ

作曲 齊藤 正和 **補作** 上岡 洋一

第29回（1981年）全日本吹奏楽コンクール(以下“全日”)の課題曲として使用されました。

全日の課題曲は毎年公募があり、入選した曲が課題曲として採用されます。

当時ピアノ教室で働いていた齊藤正和氏も、公募に応じて作曲し、みごと入選となりました。この曲は課題曲採用に際し、上岡洋一氏が補作しました。

この曲は、普通のマーチではなく、繊細な、荒々しくないマーチをめざして作ったそうです。

2 巫女の詠えるうた

作曲 大栗 裕

この曲は青森県は恐山の恐山大祭のときのイタコ(巫女)の口寄せの様子を描写したものだそうです。

イタコとは、日本の東北地方などで口寄せ（神仙や死者・行方不明者の霊などを自身に乗り移らせてその言葉を語ること）を行う巫女で巫の一種です。

口寄せ(くちよせ)とは、霊を自分に降霊(憑依)させて、霊の代わりにその意志などを語ることの出来る術。または、それを行う人のことです。死霊、生霊、神仏などの霊体を自らの体に移らせて、その言葉を語らせる降霊術の一種とされ、霊能者や巫女が行うことが多いそうです。

曲の途中の不気味な進行の情景は、このイタコの口寄せの様子を表したものだそうです。

3 THE TYPEWRITER

作曲 L. アンダーソン **編曲** F・E・ウェルレ

タイプライターとは、文書を作成するための補助として使われていた機械です。手動式、電動式、電子式とタイプライターも進化をした時期があったそうですが、文章作成のための機械としては時代とともにワープロ専用機、コンピュータ上でのワープロソフトへと移行し、今ではタイプライター目にする機会がほとんど無くなったのではないのでしょうか。

この曲は、いかにもアンダーソンらしい作風となっていますので、お楽しみください。

4 歌劇「アイダ」第2幕より 凱進行曲 **作曲** G・ヴェルディ **編曲** A. リード

1869年、スエズ運河の開通に及んで、それを記念する作品の制作依頼を受けたヴェルディですが、何かのセレモニーのために作曲することを嫌った彼は難色を示していました。

その後、カイロに建設されたオペラ劇場のこけら落としのために再度作品が依頼され、この時はエジプト学者マイエットの台本がよかったことと、破格の契約金によりようやく重い腰を上げました。

そうして完成したのが後に、ヴェルディ最大の傑作と呼ばれることになる「アイーダ」です。

紀元前のエジプトとエチオピアを舞台とする悲劇的な物語、中でも第2幕第2場の凱旋の場は舞台的にも華やかで、このオペラで特に有名なシーンです。「凱進行進曲」はここで勇壮に演奏されます。

最近ではサッカー日本代表の応援歌として、広く一般に知られるようになりました。

第2部

1 RYDEEN

作曲 高橋 ユキヒロ **編曲** 和田 直也

YMOの代表曲のひとつです。メロディはバーで高橋幸宏氏が鼻歌で歌ったのを、同じメンバーである坂本龍一氏がメモに書き起こして作られたとされています。

元々のタイトルは相撲取りの「雷電爲右工門」から『雷電』と表記されました。坂本氏は『『雷電』には東海道五十三次のような浮世絵のイメージがあり、浮世絵が世界に影響を与えたように、自分達の音楽も世界に影響を与えることと重ね合わせた』と発言しています。その後、細野氏の「アメリカで今『勇者ライディーン』っていうアニメがヒットしている」ので「じゃあ、『ライディーン』にしちゃおう」という発言で「ライディーン」となったそうです。

2 WHAT A WONDERFUL WORLD

作曲 T. ボブ&G. D. ワイス **編曲** 黒川 さやか

「この素晴らしい世界」(“What a Wonderful World”)は、ルイ・アームストロング(Louis Armstrong)の歌唱で1968年にヒットした曲です。作曲者であるボブはベトナム戦争を嘆き、平和な世界を夢見てこの曲を書いたといえます。アメリカでは中ヒット止まりだったそうですが、全英チャートでは1位となりました。その後、1987年の映画『グッドモーニング、ベトナム』で、戦時中のベトナムの牧歌的田園風景を映す印象的なシークエンスにBGMとして起用されました。

3 ナイトバース

編曲 中川 賢二

シャカタク(Shakatak)はイギリスのフュージョンバンドです。アメリカのジャズを起源とするフュージョンとは異なり、アドリブ偏重ではなく旋律と編曲を重視した親しみやすいサウンドが特徴です。

シャカタクの大ヒット曲であるこの曲は、ピアノ、ギターをフューチャーした編曲となっていますので、お楽しみください。

4 花は咲く

作曲 菅野 よう子 **編曲** 山下 国俊

この曲は2011年3月11日に発生した東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)の被災地・被災者の復興を応援するために制作されたチャリティーソングで、日本放送協会(NHK)が震災後の2011年度から行っている震災支援プロジェクト「NHK東日本大震災プロジェクト」のテーマソングとして使用されています。作詞は宮城県仙台市出身の岩井俊二氏が手掛け、作曲・編曲はやはり宮城県仙台市出身の菅野よう子氏が担当しました。作詞を手がけた岩井氏は「この歌は震災で亡くなった方の目線で作りました」と、また作曲・編曲の菅野氏は「100年経って、なんのために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと思っています」と語っています。

5 ポールサイモンの軌跡

作曲 P. サイモン **編曲** T. ウォレス

サイモン&ガーファンクル(Simon & Garfunkel)は、1960年代に活躍した、ユダヤ系アメリカ人のポール・サイモンとアート・ガーファンクルによるポピュラー音楽ユニットです。

1964年にデビューし、1970年に活動停止したものの、それ以後も折に触れて2人で活動し、1990年にロックの殿堂入りを果たしました。

今回は「サウンド・オブ・サイレンス」「フォーリン・グルービー」「コンドルは飛んでいく」「ミセス・ロビンソン」「明日に架ける橋」の5曲をメドレーでお届けいたします。サイモン&ガーファンクルのファンにはたまらない構成となっていますので、本日の演奏会の締めとして最後までお楽しみください。

定演メンバー

フルート	野田 昌代	松本佐智子	藤田健一郎	
クラリネット	沖崎 正人 東 恭可	池田 祐子 東 美幸	滝尻 翔子 山本 由帆	角部 琴美 上村 秀昌
サクソ	長原 麗子	松下 純		
トランペット	中川 健一 中谷 博之	松本 優子	本田 照美	林 繁和
ホルン	仕幸 勝治	山下 由希		
トロンボーン	片矢 秀和	長原 博昭	出水 大幸	源内 豊
ユーフォニウム	正木 孝明	酒井 真		
チューバ	岩野 祥之	野田 宏美	荒川 裕介	坂本 直樹
パーカッション	谷口 天洋 徳田 明奈	細木 剛	中前久美子	浜上 知華
指揮	清水 一洋			



団員募集

当団では「楽しく真面目に！」をモットーに日々楽しく練習に励んでいます。現在楽器を吹いている方、ブランクのある方、未経験だけど何か楽器を吹いてみたい方も大歓迎です！私達と楽しい時間を過ごしませんか？興味のある方は気軽に練習を覗きにきて下さいね！

資格：高校生以上の方ならどなたでも！

練習場所：旧穴水町生きがいセンター

連絡先：〒927-0026 鳳珠郡穴水町*****

清水 一洋 ☎ 0768-52-****(自宅)

… 私たちのホームページにも、ぜひ遊びに来て下さい …

アドレス <http://www3.to/awe-band>